

# 株式会社シダー

2021年3月期 第2四半期決算説明会



2020年12月10日



# 会社概要 (2020年10月31日現在)

設立	1981年4月	
本社	福岡県北九州市	
資本金	4億3,228万円	
事業内容	デイサービス	ホームヘルプサービス
	有料老人ホーム	ショートステイ
	グループホーム	福祉事業
	訪問看護	障害支援事業
	ケアプラン	
従業員数	2,042名	
事業所数	107カ所	

# 現在の事業所数 (2020年10月31日現在)

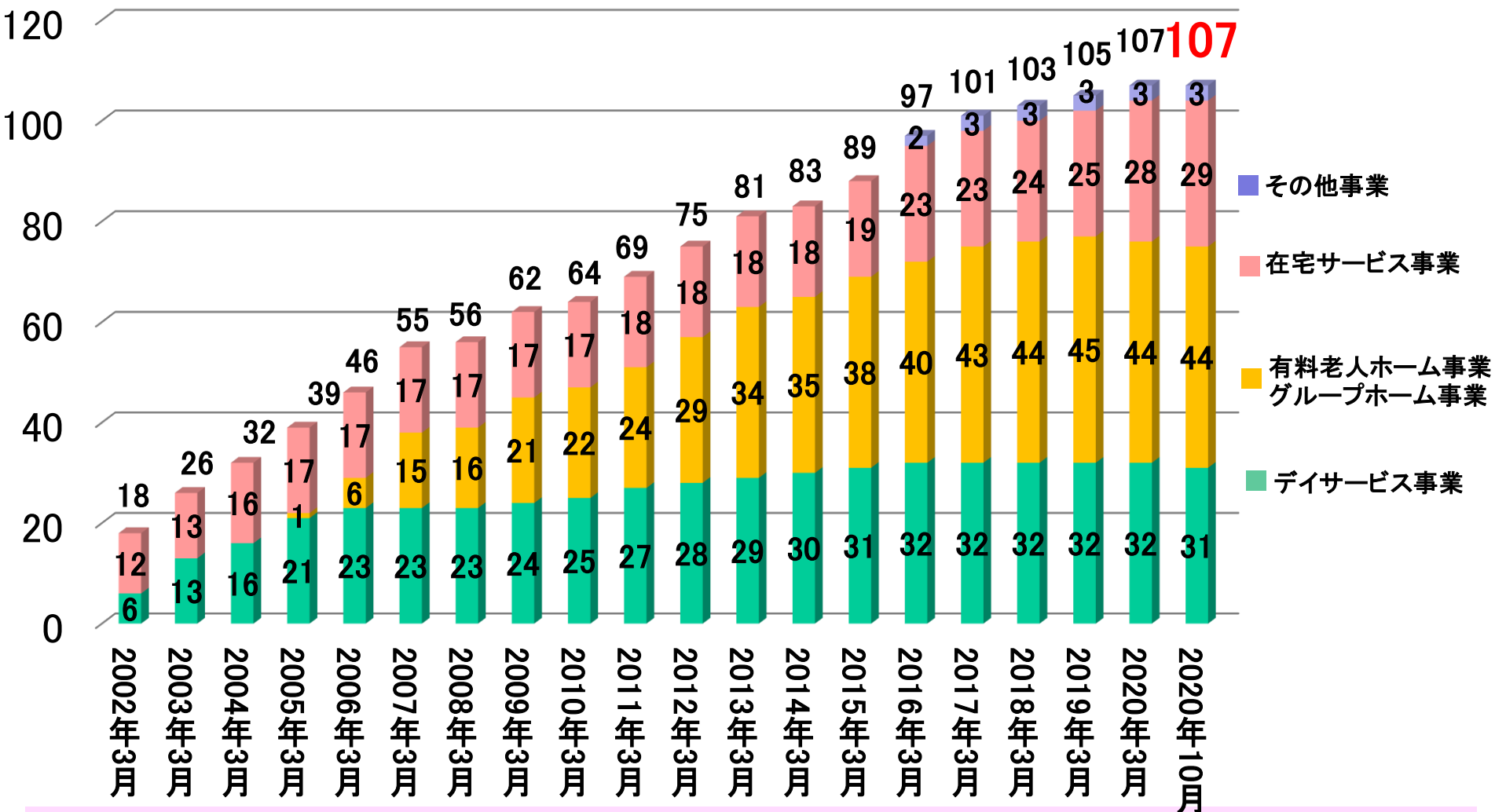
## 【全国 107事業所】

事業名	事業所数
デイサービス	31
有料老人ホーム	42
グループホーム	2
訪問看護ステーション	6
ヘルパーステーション	3
ケアプランセンター	20
福祉用具販売	1
福祉用具レンタル	1
就労支援A型事業所	1



# 事業所数推移

(事業所数)



# 目次

---

- 2021年3月期 第2四半期決算概況(連結)
- 2021年3月期 業績予想及び配当予想
- セグメント別の事業概況
- 2021年介護報酬改定について
- 新型コロナウイルス対策
- 当社の取り組むべきこと

# 2021年3月期 第2四半期決算概況(連結)

## ハイライト

- 売上高では、デイサービス事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減収となるも足元の利用件数は改善傾向。施設サービス事業では、新規施設(鶴見の郷)がフル稼働となり収益に寄与。既存店での新型コロナウイルスの影響は軽微で、高稼働率を維持、全体の売上高増に貢献。
- 営業利益・経常利益については、事業の伸長に伴う介護職員等の人材を直接雇用にすることで、人件費は増加するも人材派遣や求人費用は低減。また、新規施設が満室となり、広告宣伝費等の開設費用が低減されるなど、経費は減少。また、販管費においては、前期発生した消費税の追加計上分が解消され、費用の発生が抑えられたため、売上高の増収分と合わせ、大幅に増益。

# 2021年3月期 第2四半期決算概況(連結)

(単位:百万円)

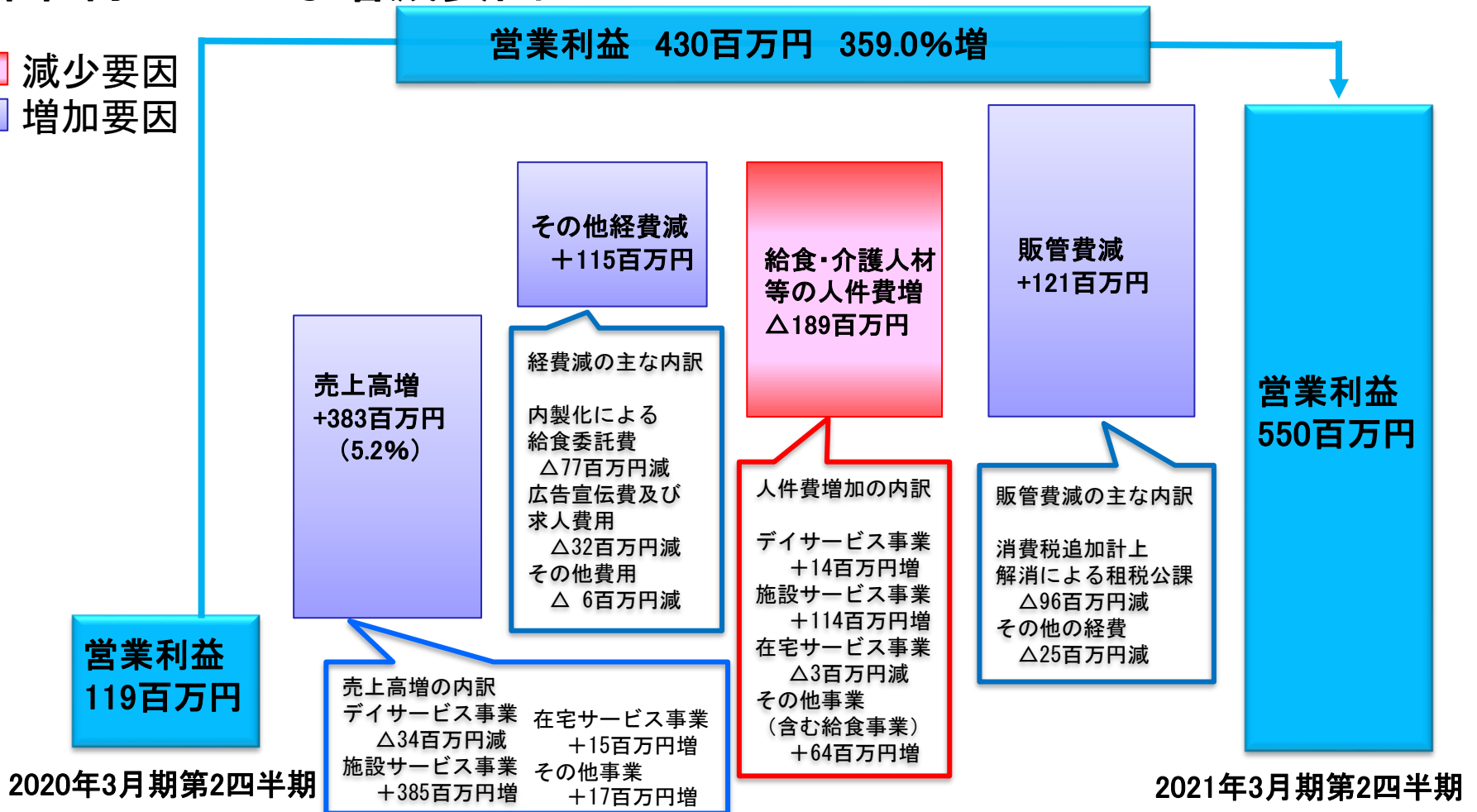
	2020年3月期 第2四半期(累計)	2021年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比	
			増減額	比率
売上高	7,387	7,771	383	5.2%
営業利益	119	550	430	359.0%
経常利益	△31	411	443	—
四半期純利益	△57	284	341	—

※四半期純利益は「親会社株主に帰属する四半期純利益」

# 2021年3月期 第2四半期決算概況(連結)

## 営業利益の主な増減要因

- 減少要因
- 増加要因





# 2021年3月期 第2四半期決算概況(連結)

## セグメント別売上高

(単位:百万円)

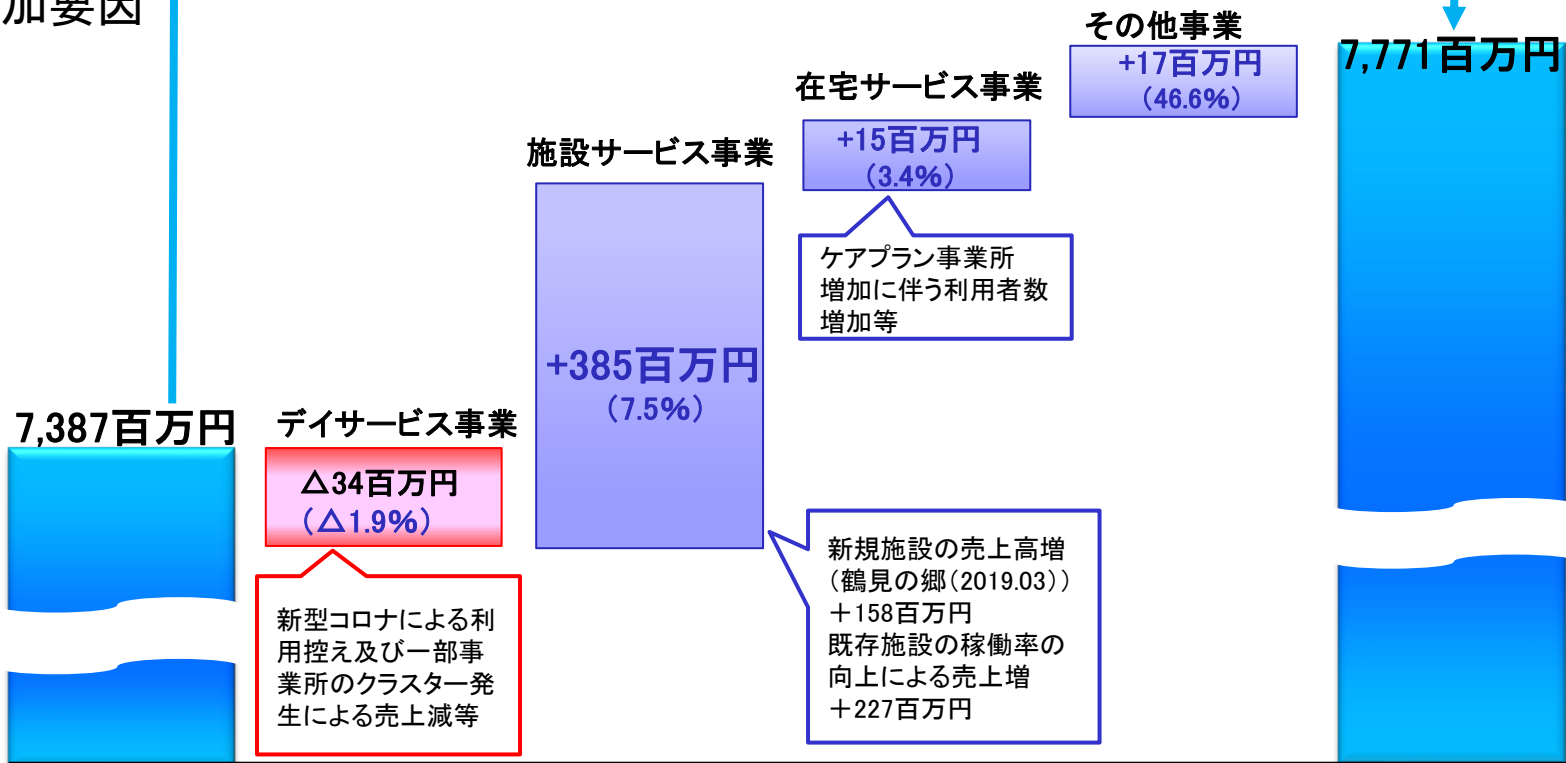
売上高	2020年3月期 第2四半期(累計)	2021年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比	
			増減額	比率
デイサービス事業	1,785	1,751	▲34	▲1.9%
施設サービス事業	5,110	5,495	385	7.5%
在宅サービス事業	454	470	15	3.4%
その他事業	36	54	17	46.6%
全事業合計	7,387	7,771	383	5.2%

# 2021年3月期 第2四半期決算概況(連結)

## セグメント別売上高の主な増減要因

- 減少要因
- 増加要因

売上高+383百万円(+5.2%)



2020年3月期第2四半期

2021年3月期第2四半期

# 2021年3月期 通期決算見通し

(単位:百万円)

	2020年3月期 (通期)	2021年3月期 (予想)	前年同期比	
			増減額	比率
売上高	15,132	15,630	497	3.3%
営業利益	549	879	329	60.0%
経常利益	257	599	342	133.2%
当期純利益	209	385	175	83.7%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

- 当社グループにおきましては、デイサービス事業において新型コロナウイルスの感染懸念による利用控えと一部デイサービスでのクラスター発生に伴う事業所休止等の影響はありましたが、現時点でのデイサービスの利用控えは収束傾向にあり、休止中の事業所はございません。また、施設サービス事業においては、引き続き高稼働率を維持しており、施設内での感染症の集団感染等が発生しないことを前提に当連結業績予想を算定しております。

# 配当金について

- 当社は事業拡大による成長のための投資資金及び内部留保と利益配分とのバランスを念頭に、株主への安定継続した配当に加え業績の伸長に応じた配当を実施することを基本方針としております。

上記の基本方針を踏まえ、2021年3月期の配当につきましては、業績予想に基づき、期末配当として1株当たり6円を予定しております。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	—	0円00銭	—	2円00銭	2円00銭
2020年3月期	—	0円00銭	—	4円00銭	4円00銭
2021年3月期 (予定)	—	0円00銭	—	6円00銭	6円00銭

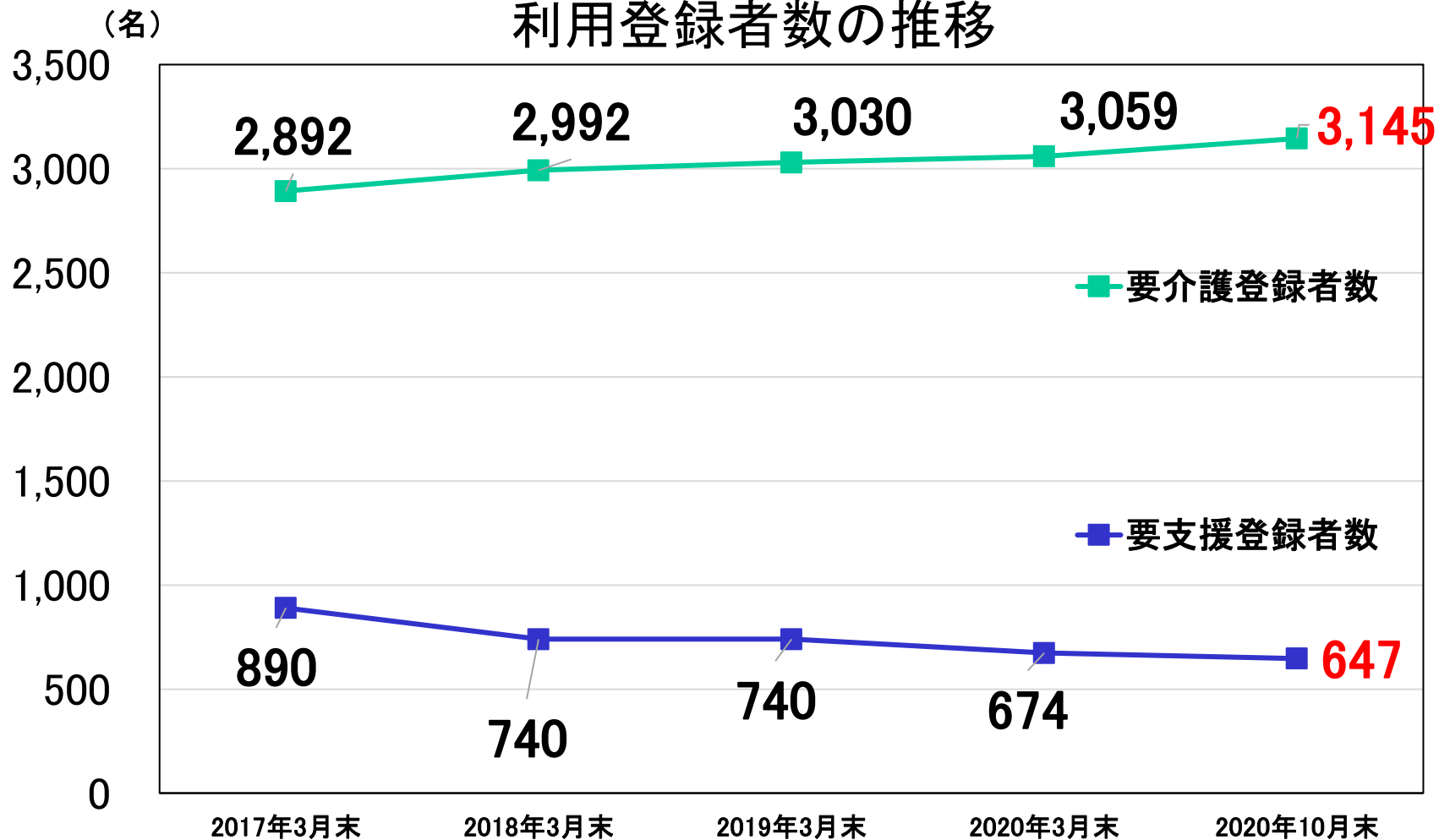
---

---

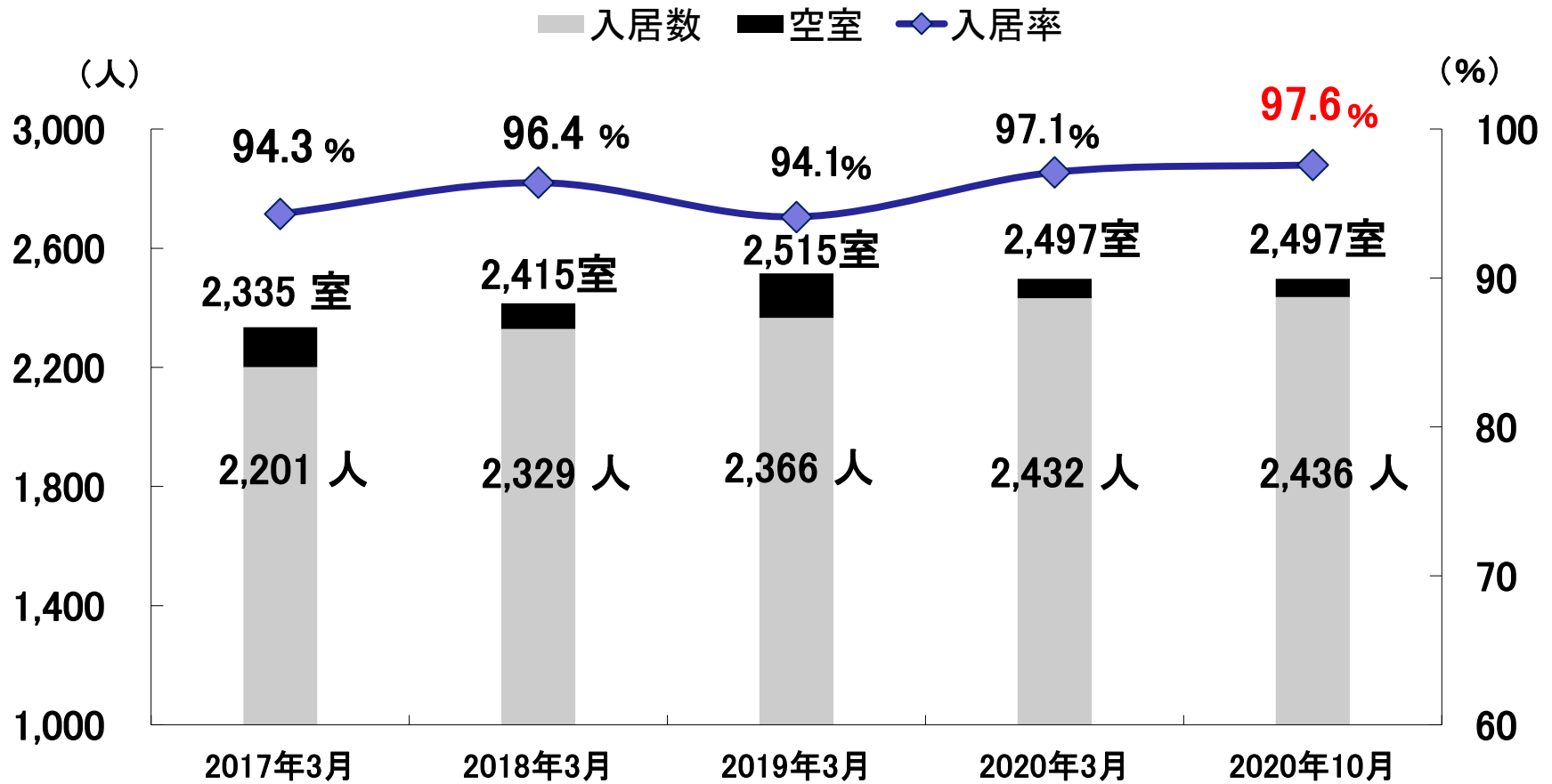
# セグメント別の事業概況

# デイサービス事業

## 利用登録者数の推移

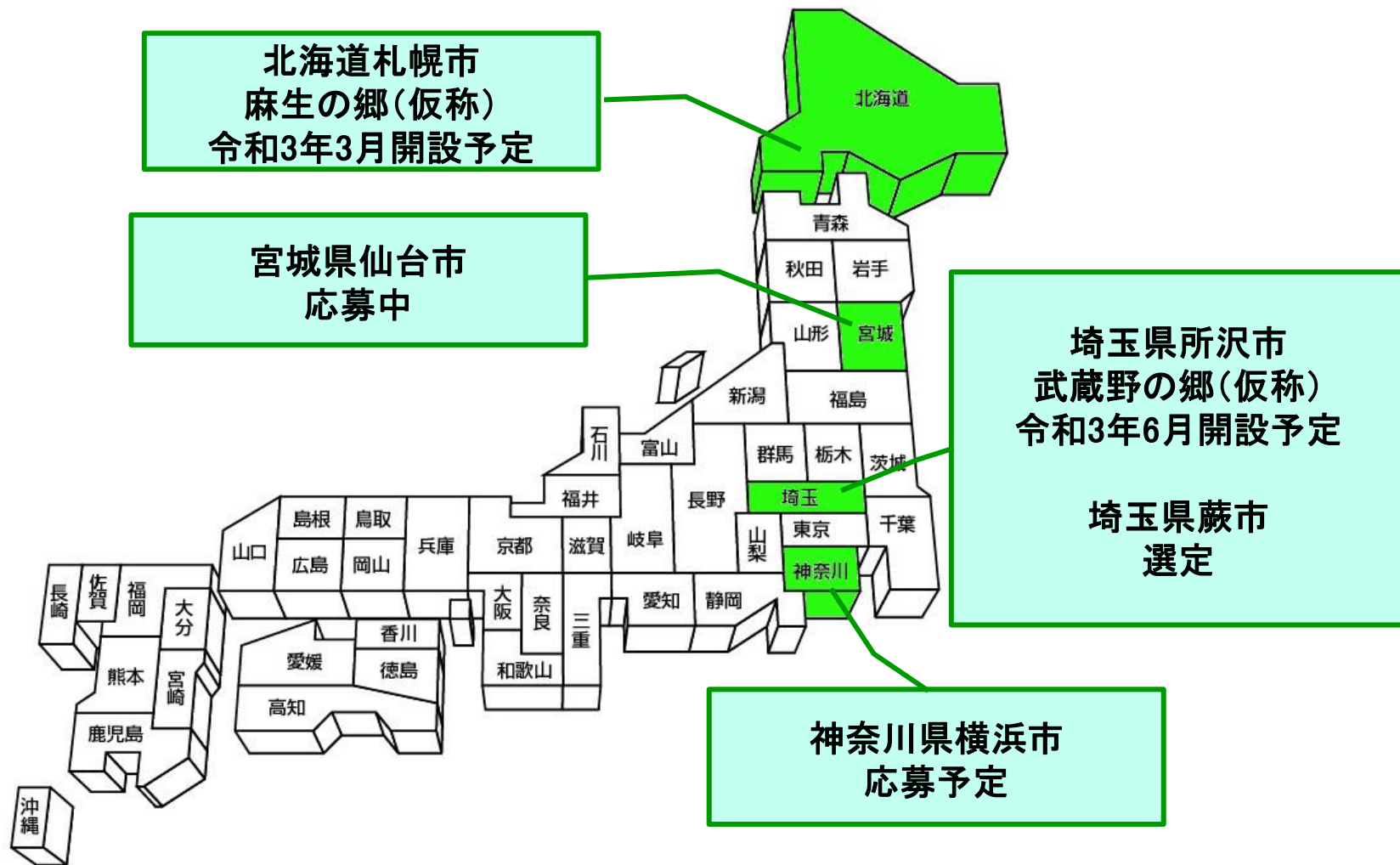


# 施設サービス事業



※グループホームあすか(18部屋)2020年1月31日閉鎖

# 今後の事業展開 計画地域





---

---

# 2021年介護報酬改定について



CEDAR

株式会社シダー

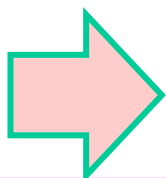
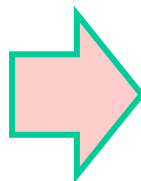
いつも春の陽だまりでありたい



# 2021年介護報酬改定について

## 個別機能訓練加算の統合(案)

	個別機能訓練加算(現行)		令和3年改定(議論中)
加算名称	個別機能訓練加算(I)	個別機能訓練加算(II)	個別機能訓練加算(統合)
機能訓練指導員	常勤・専従で1名以上(サービス提供時間帯の配置)	専従1名以上(配置時間の定めなし)	専従1名以上(配置時間の定めなし)
訓練目的・内容	身体機能向上	生活機能向上	身体機能・生活機能向上(柔軟に組み合わせる)
提供方法	人数制限なし	5名程度以下の小集団	5名程度以下の小集団
実施者	制限なし	機能訓練指導員が直接実施	機能訓練指導員が直接実施



- 個別機能訓練加算(I)から(II)を算定できる体制を構築。但し、単位数が令和2年12月10日時点で不明な為、条件によっては見送ることも検討。

# 2021年介護報酬改定について

## 介護分野の文書に係る主な負担軽減策(案)

	指定申請	報酬請求	実地指導等
<b>簡素化</b> <small>(並行して検討することが有益な項目は柔軟に取扱い)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出時のルールによる手間の簡素化  <span style="border: 1px solid red;">・押印</span>、原本証明、提出方法(持参・郵送等)</li> <li>様式、添付書類そのものの簡素化  <span style="border: 1px solid red;">・勤務表の様式</span>、人員配置に関する添付書類                      ・その他、指定申請と報酬請求で重複する文書</li> <li>・平面図、設備、備品等</li> <li>・介護医療院への移行にかかる文書の簡素化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処遇改善加算/ 特定処遇改善加算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実地指導に際し提出する文書の簡素化                      ・重複して求める文書                      ・既提出文書の再提出</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●変更届の頻度等の取扱い</li> <li>●更新申請時に求める文書の簡素化</li> <li>●併設事業所や複数指定を受ける事業所に関する簡素化                      ・複数種類の文書作成(例:介護サービスと予防サービス)                      ・複数窓口への申請(例:介護サービスと総合事業)                      ・手続時期にずれがあることへの対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●実地指導等の時期の取扱い</li> </ul>
<b>標準化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●H30省令改正・様式例改訂の周知徹底による標準化(※)</li> <li>●様式例の整備(総合事業 加算の添付書類等)</li> <li>●ガイドライン、ハンドブック等、効果的な周知の方法</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●標準化・効率化指針の周知徹底による標準化</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●申請様式のHPIにおけるダウンロード</li> <li>●ウェブ入力・電子申請</li> <li>●データの共有化・文書保管の電子化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●実地指導のペーパーレス化                      ・画面上での文書確認</li> </ul>

<凡例>

- R元年度の取組
- 1～2年以内の取組
- 3年以内の取組  
⇒2年以内の実現を目標し、取組を前倒し(※※)

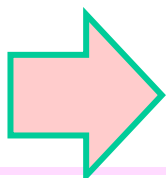
「取組を徹底するための方策」

- 各取組の周知徹底(特に小規模事業者)
- 国・都道府県から市区町村への支援
- 事業所におけるICT化の推進
- 自治体における取組推進のための仕組みの検討 他

□ …本日の議題

(※)介護保険法施行規則の改正(H30年10月施行)の内容を踏まえた、老人福祉法施行規則上の規定の整理も含む。  
 (※※)前倒しで実現出来るものがあれば、順次取り組んでいく。

出典:第7回 介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会より



- 必要に応じて、書式の見直し、又は、ICT等の活用を行い業務負担軽減に繋げる。

# 2021年介護報酬改定について

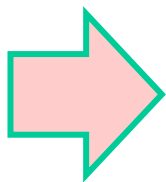
## 区分支給限度基準額の計算方法(検討案)

通所介護及び通所リハビリテーションにおける大規模の報酬が適用される事業所を利用する者の区分支給限度基準額の管理については、通常規模型のサービスを利用する者と大規模サービスを利用する者との公平性の観点から、通常規模型の単位数を用いることを検討してはどうか。

出典:第192回 介護給付費分科会より



大規模通所介護施設にとっては、事実上の支給限度額が減額となる為、利用回数の減少に繋がる。



- 対象の利用者を確認し、利用回数減がどの程度になるかを検証し、対策を実施予定。

---

---

# 新型コロナウイルス対策

# 新型コロナウイルスへの対策

## 感染症対策

「感染症対策委員会」を設置。  
引き続き厚生労働省通知や自治体の指導に基づき  
感染症防止に努めます。

1. 感染症防止策の実施
2. 利用者・入居者様の体調管理
3. 入館制限
4. オゾン発生器の導入

# 新型コロナウイルス対策

## オゾン発生器をデイサービス・有料老人ホームに導入

OHNIT  
オーリック株式会社

AIR FINO  
エアーフィーノ VS50S

当施設は  
オゾン  
により  
感染対策  
に取り組んでいます。

脱臭  
オゾンが分解  
自然に存在するオゾンで  
ニオイの元を分解&脱臭  
オゾンは大気を浄化する働き(脱臭・除菌)もしています

除菌  
24時間で80%以上の  
除菌効果で感染対策  
オゾンが空気中のウイルスにも効果が期待できます

時間 (時間)	黄色ブドウ球菌 (個体数)	大腸菌 (個体数)
0	100	100
6	80	80
12	60	60
18	40	40
24	20	20

業務用 室内専用オゾン発生装置  
AIR FINO  
エアーフィーノ VS50S



**感染リスク軽減の為、**  
オゾン発生器を  
デイサービス・  
有料老人ホームへ導入

**新型コロナウイルスについては、オゾンによる不活化を確認した、との報告が奈良県立医科大学からプレス発表されました。**

感染防止の基本は、3密を避け、手洗い、マスクの着用をすることですが、空気中のウイルスを、細胞レベルで死滅させることができるオゾン発生器を設置すれば、**感染のリスクを軽減**させることができます。

オゾン発生器は、新型インフルエンザだけでなく、従来の季節型インフルエンザやノロウイルス、新型コロナウイルスにも効果があることが検証されました。

人体に影響を与えない微量のオゾンが出る家庭用のオゾン発生器でウイルスを**死滅させることはできませんが、常にオゾンが漂っていることで、感染しにくい環境を創出**します。

出典:オーリック株式会社ホームページ

---

---

# 当社の取り組むべきこと



# 当社の取り組むべきこと

## 介護職員対策について

### 介護職員の確保と定着

- ・文書に負担軽減策等を受け、ICT等の導入検討し、労働環境改善に取り組む。
- ・介護福祉士等の資格取得支援。

### 外国人雇用

- ・国内の労働力減少を見据えて、外国人技能実習生受入継続。  
⇒2021年 6名新規受入予定。
- ・新たな在留資格『特定技能』を利用した受入も検討。
- ・英語マニュアル、規定整備の推進。

# 当社の取り組むべきこと

## 事業展開について

### 事業拡大

- ・今後も特定施設の公募があれば、積極的に応募予定。
- ・M&Aの検討。

### 既存施設の営業強化

- ・ケアプランセンター増設を行い、デイサービスセンターとの連携を図る。
  - 令和2年1月 ⇒ 鎌ヶ谷ケアプランセンター開設
  - 令和2年6月 ⇒ 花見川ケアプランセンター開設

2019年3月末ケアマネジャー:68名

⇒2020年10月末ケアマネジャー:80名(12名増)

# 本資料の取り扱いについて

本資料は株式会社シダーの事業及び業界動向についての株式会社シダーによる現在の予定、推定、見込み、又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確かさが内在しております。既に知られたもしくは今だに知られていないリスクや不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シダーは将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2020年12月10日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社シダーにより2020年12月10日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2020年12月10日 株式会社シダー

